

学校教育目標  
自ら輝け 夢をつかめ  
～笑顔・感動 はつらつ植水～

学校だより

瑞 穂



令和6年度5月号  
令和6年5月2日  
さいたま市立植水中学校  
HP uemizu-j@saitama-city.ed.jp

## 夢や希望（目標）をはぐくむ

校長 太田 鋭一

新緑がまぶしい季節となりました。毎朝、正門から職員玄関に向かって歩いていく際に、校舎を眺めるとライトグリーンの校舎の色と木々の色とが重なる風景がとても優雅で心が洗われ、清々しい気持ちで一日がスタートします。また、ある日の朝、正門前で生徒たちとあいさつを交わしていた時に、「毎朝、ありがとうございます」という大きな声が聞こえてきました。ある生徒が、生徒の皆さんが安全に登校できるように立哨指導を行っている学校地域連携コーディネータの田中先生に、感謝の気持ちを伝えていたのです。田中先生と二人で、顔を見合わせ、大人だっとなかなか言えないですよねと感心いたしました。

さて、もうすぐ新年度がスタートして1か月が過ぎます。新しい学級や友達との出会い、また、新しい環境での生活や学習が本格的に始まり、学校生活を前向きに頑張っている姿を多くの場面で見かけます。2年生、3年生は進級し上級生となり、学校生活の様々な場面において、私たちが1年生を引っ張っていくのだという心意気で頑張っている姿が多く見受けられました。学校生活の様子を説明する生徒会オリエンテーション等を運営することによって、先輩となった自覚を深め、1年生の生徒たちにとって新たな生活がスタートし中学校生活に対する期待をさらに膨らませるよい機会となりました。1年生は制服姿がだいぶ似合ってきて、朝、登校してくる姿が立派です。正門前で元気に挨拶をしてくれます。新しい環境の中での緊張が続き、少し疲れがたまっているような面も見られますが、部活動も始まり2・3年生とともに楽しそうに活動している様子も見受けられ、少しずつですが中学校生活にも慣れてきたようです。皆さんには夢中になって頑張れるものがありますか。人は夢中になって頑張れるものがあると、気持ちが安定して、生き生きとしてくるそうです。気持ちが安定していると、集中力も増し、学習の定着度もあがるそうです。夢中になって頑張れるものがまだ見付からない人は、まずは色々なことに挑戦してみたり、どのようなことでもよいので、一生懸命努力してみたりするとよいと思います。そのような経験をとおして、中学校時代に将来の夢や希望（目標）を育んでほしいと思います。人生を歩んでいくうえで重要なのは自分の目標をしっかりと見付けることだと思います。「自分はこの仕事をしてみたい」「こんな生き方をしたい」「このようなことができるようになりたい」、将来、なりたい自分を想像し、その自分になるために今、何をすべきかを考え実践することが大切です。夢や目標が、皆さんに進むべき道を必ず示してくれるはずです。どんなものでもかまいません、何か具体的な目標を一つ決めて実践してみてください。定めた目標が毎日の生活の過ごし方を示してくれるはずです。

最後に、保護者の皆様、お忙しい中、学校公開・保護者会にご来校いただき誠にありがとうございました。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力よろしくお願ひいたします。この連休に、ご家庭で、お子様との会話の時間を大切にしてください。よりよい変容や自己実現に向けて、あたたかくご支援くださいますようお願いいたします。